



実用新案登録願(2)

適

特許庁長官殿

昭和 年 月 日

考 案 の 名 称

ソウシンキ ゲンコウシ キコウ  
フアクシミリ送信機における原稿紙ガイド機構

考 案 者

東京都港区芝五丁目33番1号  
日本電気株式会社内

サ トウ カズ キヨ  
佐 藤 一 清

実用新案登録出願人

東京都港区芝五丁目33番1号  
(423) 日本電気株式会社

代表者

~~中 林 康 治~~ 4字訂正  
田 中 忠 雄

代 理 人

〒108 東京都港区芝五丁目33番1号  
日本電気株式会社内

(6591) 弁理士 内 原 晋

電話 東京 (03) 454-1111(大代表)

添付書類の目録

明 細 書 1通  
図 面 1通  
委 任 状 1通  
願 書 副 本 1通

53 7/32

51 154219

## 明 細 書

考案の名称      ファクシミリ送信機における  
                    原稿紙ガイド機構

### 実用新案登録請求の範囲

原稿紙を光学走査部の透光部に圧接する圧接ローラの外周に周溝を形成し、この周溝内に一部が介在されてガイド部材内の原稿紙走行路に沿って前後方向に延びる押えベルトを緊張状態に装備して成るファクシミリ送信機における原稿紙ガイド機構。 5

10

### 考案の詳細な説明

本考案は送信原稿紙を一枚ずつ光学走査部に移送し、光学走査部において光学走査を行うことによりファクシミリ信号を伝送するファクシミリ送信機において、送信原稿紙（以後原稿と称す）を円滑且つ確実に移送することが出来るように構成した原稿ガイド機構に関するものである。 15

(1)

52-4/225

従来この種の原稿紙ガイド機構は一般に第1図  
 に示すように、原稿1を原稿受台2に沿わせて、  
 送りローラ3とピンチローラ3'の間にはさみ込む  
 と、ピンチローラ3'は送りローラ3に圧接されて  
 おり、この2つのローラが夫々矢印の方向に回転  
 して原稿1をガイド部材4を通して光学走査部5  
 に供給し、光学走査部5においては供給されて来  
 た原稿1を圧接ローラ6によりプリズム系を含む  
 透光部7に圧接すると共に、その圧接面に光源部  
 8より光を照射する。照射された光の原稿1から  
 の反射光は、直線一円変換オプティカルファイバー  
 9に導かれ光電変換素子により電気信号に変換さ  
 れる。光学走査された後、原稿1は再びガイド部  
 材4を通して送出されるように構成されている。  
 ところで原稿1が光学走査部5において圧接ロー  
 ラ6と透光部7とにより圧接されながら移送され  
 る過程においてその原稿1の前縁が例へば折り曲  
 っている場合或いは原稿1に圧接ローラ6の圧接  
 力による彎曲縁が生じたり、圧接ローラ6に原稿  
 1の前縁がはりついたり等によって該原稿1の前

5

10

15

20

紙がガイド部材 4 の端部に引掛ったり或いは浮き上ってガイド部材 4' でまるまったりして原稿 1 の円滑な移送が出来なくなる不都合がよく生じる。そこで本願はこのような欠陥を改善するためになされたもので、その特徴とするところは、原稿 1 を光学走査部 5 で透光部 7 に圧接する圧接ローラ 6 の外周に周溝を形成し、この周溝内に一部が介在されてガイド部材 4 及び 4' 内の原稿走行路に沿って前後方向に延びる押えベルトを緊張状態に装備して成るものである。

5

10

第 2 図により本願の一実施例を詳細に説明する。圧接ローラ 6 の外周に形成した周溝 10 は圧接ローラ 6 の長さ方向に複数個並設され、しかも周溝 10 の深さは周溝 10 内に一部介在されてガイド部材 4 及び 4' 内の原稿紙走行路 a に沿って前後方向に延びる押えベルト 13 の厚さに対して同じかわずかに深い程度に形成される。この周溝 10 の深さと押えベルト 13 の厚さの関係は例えば周溝 10 の深さが深すぎると周溝 10 の溝巾部だけ原稿 1 が透光部 7 に圧接されず送信電気信号を乱すため

15

20

図 10 の深さは押えベルト 13 の厚さと同じかわずかに余くする必要がある。

11 は圧接ローラ 6 の上方位置に設けられた固定軸で、これに収付板 12 が装着されている。

押えベルト 13 はその一端が前記収付板 12 の一部に他端がスプリング 14 を介して前記収付板 12 の他端に夫々取付られて緊張状態に配設されている。しかして本装置の構造によれば、ガイド部材 4 に導かれた原稿 1 は押えベルト 13 の存在に不拘、圧接ローラ 6 と透光部 7 とにより圧接された状態で従来と同様に光学走査される。光学走査された後の原稿 1 がガイド部材 4 に導かれるとき、該原稿 1 の前縁は押えベルト 13 によりその浮き上りが阻止されて従来のように原稿 1 がガイド部材 4 に引出ったり、ガイド部材 4 内でまるまったりする恐れはなく原稿 1 を確実に且つ円滑に移送することが出来る利点を得る。

#### 図面の簡単な説明

第 1 図はファクシミリ送信機の一般的構成を示

(4)

図 10 の深さは押えベルト 13 の厚さと同じかわずかに余くする必要がある。

11 は圧接ローラ 6 の上方位置に設けられた固定軸で、これに収付板 12 が装着されている。

押えベルト 13 はその一端が前記収付板 12 の 5  
一部に他端がスプリング 14 を介して前記収付板  
12 の他端に夫々収付られて緊張状態に配設され  
ている。しかして本装置の構造によれば、ガイド部  
材 4 に導かれた原稿 1 は押えベルト 13 の存在に  
不拘、圧接ローラ 6 と透光部 7 とにより圧接され 10  
た状態で従来と同様に光学走査される。光学走査  
された後の原稿 1 がガイド部材 4 に導かれるとき、  
該原稿 1 の前縁は押えベルト 13 によりその浮き  
上りが阻止されて従来のように原稿 1 がガイド部  
材 4 に引出ったり、ガイド部材 4 内でまるまったり 15  
りする現象はなく原稿 1 を確実に且つ円滑に移送す  
ることが出来る利点を有する。

図面の簡単な説明

第 1 図はファクシミリ送信機の一般的構成を示

(4)

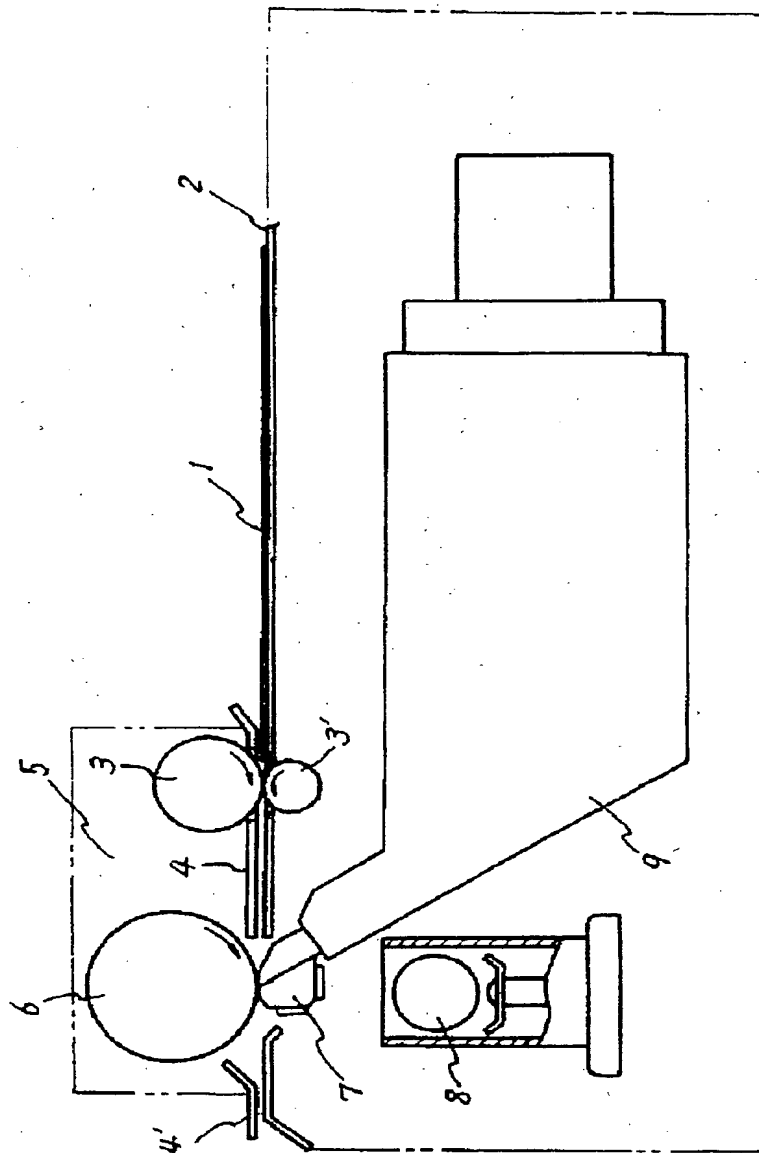
す図、第2図は本発明の一実施例における断面図である。

- |       |        |    |        |
|-------|--------|----|--------|
| 4, 4' | …ガイド部材 | 5  | …光学走査部 |
| 6     | …圧接ローラ | 7  | …透光部   |
| 10    | …周溝    | 11 | …固定軸   |
| 12    | …取付板   | 13 | …押えベルト |
| 14    | …スプリング |    |        |

5

代理人 弁理士 内 原 晋

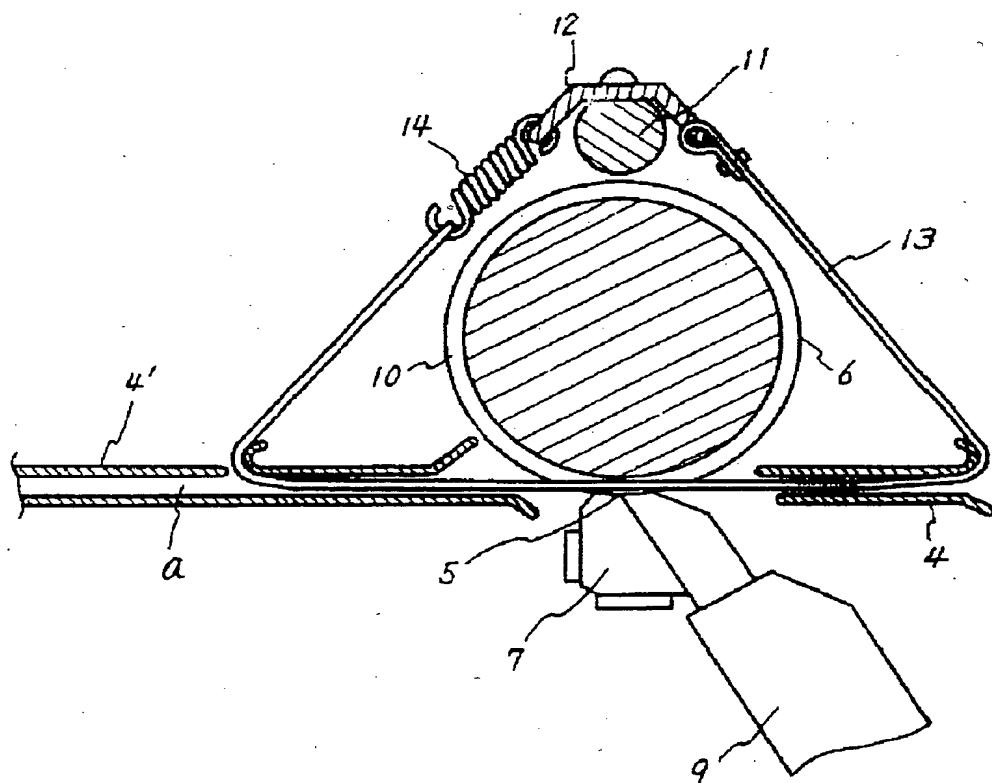
第1図



71325 1/2



第 2 圖



71325 3/2

代理人 井上 正 廣 普

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**